

森林科学の未来を語る(その1) セルロースナノファイバーの 可能性を探る

開催日時:平成28年2月19日(金) 13時30分~17時

開催場所:日本学術会議 講堂(東京都港区六本木7-22-34)

主催:日本学術会議 農学委員会林学分科会

共催:森林・木材・環境アカデミー、NPO法人才の木

参加費:無料(事前申込不要)

東京メトロ千代田線
「乃木坂」駅5番出口

開会挨拶

鈴木滋彦(日本学術会議連携会員、静岡大学大学院農学研究科教授・副学長)

講演

植物で車を創るー ナノセルロース材料のポテンシャルと課題ー

矢野浩之(京都大学生存圏研究所 教授)

完全ナノ分散化木材セルロースナノファイバーの構造と機能

磯貝 明(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)

木質バイオマス成分リグニンの利活用を目指した機能化

浦木康光(北海道大学大学院農学研究院 教授)

ナノセルロースを軸としたバイオマスリファイナリー技術の展開

遠藤貴士(産業技術総合研究所 機能化学研究部門 研究グループ長)

今後のナノセルロース研究に期待するもの

飯塚堯介(日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授・東京家政大学客員教授)

パネルディスカッション

コーディネータ

川井 秀一(日本学術会議第2部会員、京都大学大学院総合生存学館学館長)